

1年 「ほめ言葉のシャワー」



「ほめ言葉のシャワー」とは、一人ひとりのよいところを見つけ合い伝え合う活動です。一人ひとりがその日に教壇に立ち、残りのクラス全員から「ほめ言葉」の「シャワー」を浴びます。「〇〇さんは優しいです。」「〇〇さんは字が丁寧です。」などの言葉が伝えられ、中には言われる人も気付かないような「ほめポイント」がいくつも発見されます。その日の主役の子も恥ずかしがりながらも嬉しそうに最後まで聞いています。クラスに温かい言葉と雰囲気がたくさんあふれています！

2年 デジタルとアナログ



5、6年生が委員会活動でタブレットを使って全校にアンケートをとっていたことから、「学級でもやってみよう！」と声が上がりました。学級の係活動ごとに、ICT支援員の後藤先生にロイロスクールアンケート機能について教わりました。

図工「はさみのあーと」では、はさみやのりを使って作品を仕上げ、タブレットで写真を撮って友達の作品を鑑賞しました。デジタルとアナログ、それぞれのよさを意識して学習をしています。

3年 学習の秋



国語の「山小屋で三日間すごすなら」では、班で話し合いながら持っていく道具を決めました。広げる・まとめるを意識して自分たちで意見をまとめ上げました。

「へんとつくり」では、さんずいやにんべんなどの漢字をたくさん見つけました。発表したい人がとても多い学習になりました。



4年 ゴーヤの観察



春に理科の学習で植えたゴーヤが、この夏実をつけました。夏休み明け、収穫したゴーヤを各クラスで観察し、観察カードに記録をしました。

4年生の植物の学習では、ゴーヤの一生を追いました。種から植えたゴーヤは、実となったのちオレンジ色になり、そして乾いた状態になりました。中をのぞくと種があり、自分たちが植えた種と同じ形をしているとうれしそうにしていました。

学校での活動を基に、家でも植物を育てている子どもたちがいます。学んだことを生かして自分でも挑戦してみようといった気持ちが芽生え、生き物を大切にしようとする態度が育っているようです。

5年 交換授業について



社会科と体育の交換授業を行っています。担任が、自分のクラスだけでなく、5年生全体的な子どもたちのことが分かり、チームとして指導にあたるためです。

社会科は、今は、「水産業のさかんな地域」の学習を行っています。さんまが、根室港で水揚げされて3日で東京に運ばれるまで、それに携わる人々は、どんな仕事をし、どんな工夫をしているのかを予想を立てて話し合った後、自分で調べて発表します。見通しがあるからこそ、調べた後の話し合いが盛り上がります。2つのクラスでちょっとずつ興味の持ち方や反応の仕方が違って楽しいです。

体育は、ソフトバレーボールに取り組んでいます。どのチームも仲よく協力し、それぞれのもち味を生かして作戦を立ててゲームを楽しんでいます。

6年 対話をしよう



国語の学習で、ワールドオリエンテーションの手法を生かした、グループ内トークの仕方を練習しました。自分やグループの考えを広げたり、深めたりするときに行います。一方的に話したり聞くだけになったりすることなく、みんなで話し合う、そしてその過程を経て考えを深める。こんな体験を積み重ねたいと考えています。

机を寄せ合って話し合うときの子どもたちは、笑顔で互いの意見を聴いていて、温かい雰囲気が醸し出されていました。時には真剣に意見を伝える姿も見られ、話し合いを楽しみながらも、対話の仕方を学んでいる様子がうかがえました。

4組 わくわく投げ投げランド



4組の体育では、「ボール運動」の学習として、「わくわく投げ投げランド」に取り組んでいます。的当てやゲームや縄に通したバトンを遠くまでスライドさせるゲームを通して、投げる時の体の使い方を知ったり、力強く、狙ったところに球を投げる練習をしたりしています。

授業の最後には、「手だけ動かすのではなく、左足を前に踏み出したら強く投げられた！」「球を持っていない方の手も大事！」「的に当たって、うれしかった！」などの感想が聞かれました。